

スーパーマーケット景気動向調査

2021年12月調査結果（11月実績）
（2021年12月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

12月調査（11月実績）結果概況

景気判断DIは現状・見通しともに小幅な悪化

11月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DIの現状判断は、前月から-1.3の40.4、見通し判断は前月から-2.3の35.4となり、ともに前月から小幅な悪化をみせた。

経営動向調査では、売上高DI、収益DIともに前月からマイナス幅を拡大した。内食需要の減少による買上点数減が見られた影響を受けた。畜産相場や水産相場の高値傾向により生鮮品仕入原価DIが11.4、原材料価格高騰による値上げにより食品仕入原価DIは14.8といずれも二桁プラス域で高止まりしている。一方で販売価格は横ばい、客単価DIはマイナス域で推移しており、収益DIを圧迫している。

カテゴリ動向調査では、緊急事態宣言解除による内食需要の落ち着きと前年との反動で、生鮮三品でDIのマイナス幅が大きくなった。また非食品カテゴリは、衛生用品に前年からの反動減が続いている。（カテゴリ動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査では、すべての景況感が悪化をみせているが、小幅にとどまっており、これまでのトレンドに大きな変化はみられていない。（長期傾向についてはP11参照）

新規感染者数は落ち着いた状況が続いており、リモートワークの減少により夜間や週末の人流に変化がみられ、内食需要は前年に比べ減少していると見られている。一方で前々年同月比は堅調に推移しており、外食需要が完全に戻る状況には至っていないとみられる。また世界的な物価高騰の影響が徐々に国内にも波及しており、家計に与える影響が懸念されている。消費者によってバラツキの大きい内食需要の変化と、物価高などによる節約志向に対応しなければならず、難しい舵取りが求められている。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月：40.4 (-1.3) 前月：41.7	消費者購買意欲DI 当月：40.7 (-1.3) 前月：42.0	周辺地域 競合状況DI 当月：40.7 (-1.4) 前月：42.1	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：43.3 (-0.2) 前月：43.5
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月：35.4 (-2.5) 前月：37.9	消費者購買意欲DI 当月：38.9 (-1.4) 前月：40.3	周辺地域 競合状況DI 当月：38.6 (-1.4) 前月：40.0	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：41.9 (-0.4) 前月：42.3
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月：-14.6 (-5.4) 前月：-9.2	客単価DI 当月：-1.9 (-4.3) 前月：2.4	来客数DI 当月：-14.5 (-4.0) 前月：-10.5	
収益DI 当月：-15.0 (-6.8) 前月：-8.2	販売価格DI 当月：4.6 (+0.3) 前月：4.3	生鮮品仕入原価DI 当月：11.4 (+2.2) 前月：9.2	食品仕入原価DI 当月：14.8 (+3.7) 前月：11.1

カテゴリ動向

青果DI 当月：-19.2 (-1.6) 前月：-17.6	水産DI 当月：-13.5 (-4.3) 前月：-9.2	畜産DI 当月：-16.0 (-6.4) 前月：-9.6	
惣菜DI 当月：6.1 (-4.6) 前月：10.7	日配DI 当月：-7.4 (-6.7) 前月：-0.7	一般食品DI 当月：-9.2 (-8.3) 前月：-0.9	非食品DI 当月：-13.9 (+1.5) 前月：-15.4

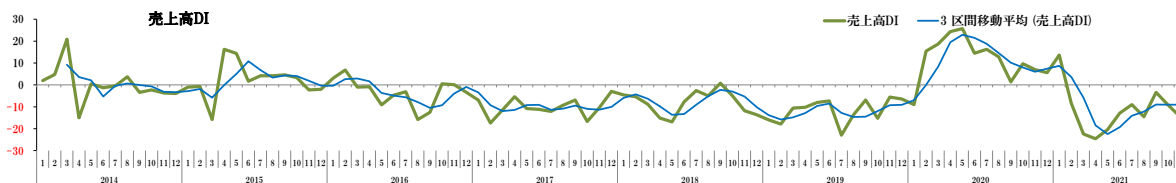
※DI値は前年同月との比較 / ()内は前月DIからの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高DI

低下傾向が続き二桁マイナスに

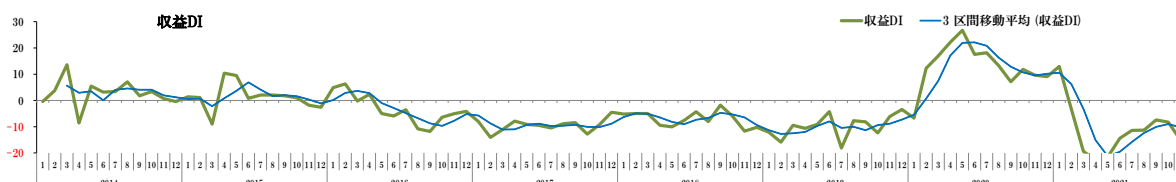
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	13.0	36.7	27.1	20.3	2.8	-9.2
売上高 (当月)	17.3	43.6	23.1	12.2	3.8	-14.6



2. 収益DI

低下傾向が続き二桁マイナスに

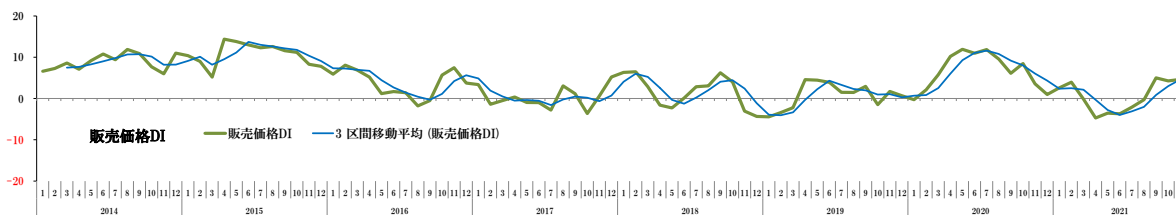
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	15.6	31.8	28.3	18.5	5.8	-8.2
収益 (当月)	15.8	43.4	27.6	11.2	2.0	-15.0



3. 販売価格DI

横ばい推移で3か月連続のプラス

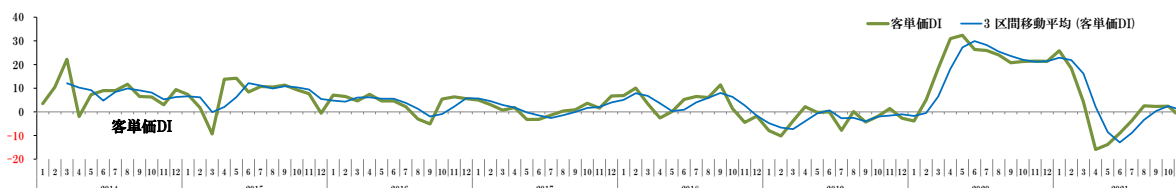
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	10.8	61.9	26.7	0.6	4.3
販売価格 (当月)	0.0	10.3	60.9	28.8	0.0	4.6



4. 客単価DI

ほぼ横ばい推移もわずかなマイナス

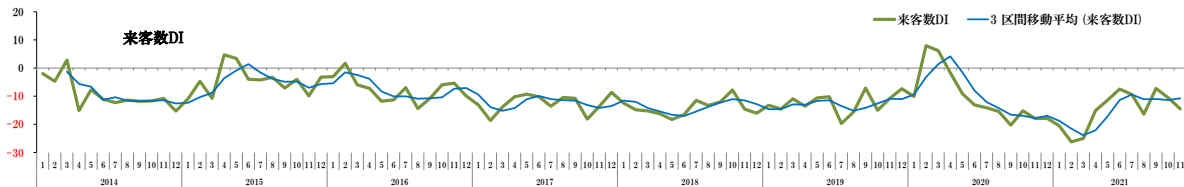
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.6	24.3	42.4	30.5	2.3	2.4
客単価 (当月)	1.3	29.7	45.8	21.9	1.3	-1.9



5. 来客数 DI

二桁マイナスで推移

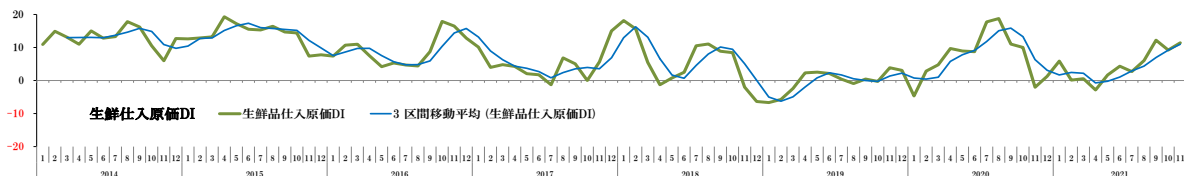
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	9.7	43.8	27.3	17.6	1.7	-10.5
来客数 (当月)	15.5	43.2	26.5	13.5	1.3	-14.5



6. 生鮮仕入原価 DI

小幅に上昇し二桁プラスで推移

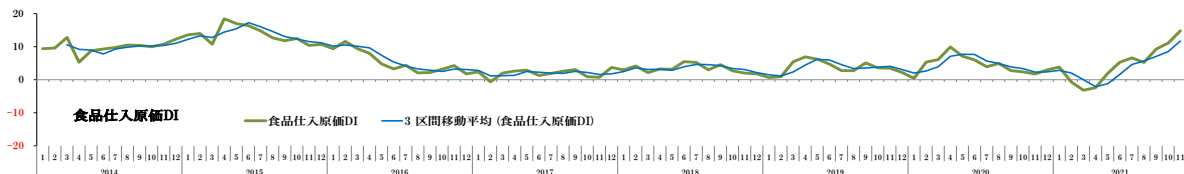
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	3.0	8.3	44.6	36.9	7.1	9.2
生鮮仕入原価 (当月)	1.3	12.6	33.8	43.7	8.6	11.4



7. 食品仕入原価 DI

さらに上昇し二桁プラス圏で推移

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	2.9	5.2	39.9	48.6	3.5	11.1
食品仕入原価 (当月)	2.0	4.6	33.6	52.0	7.9	14.8

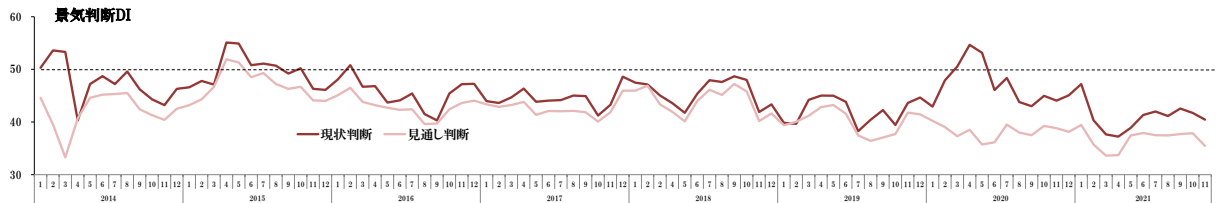


II. 景況感調査 (2014年4月～/周辺地域景況判断 2010年4月～)

1. 中核店舗景況判断 DI

現状判断、見通し判断ともに小幅に悪化

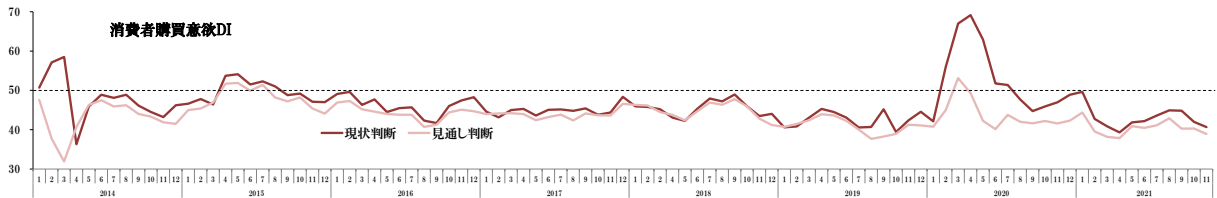
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	5.6	30.3	56.2	7.3	0.6	41.7
【現状】景況判断 (当月)	5.7	34.4	54.1	3.8	1.9	40.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	6.2	41.2	47.5	5.1	0.0	37.9
【見通し】景況判断 (当月)	6.3	48.7	41.8	3.2	0.0	35.4



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断ともに小幅に悪化

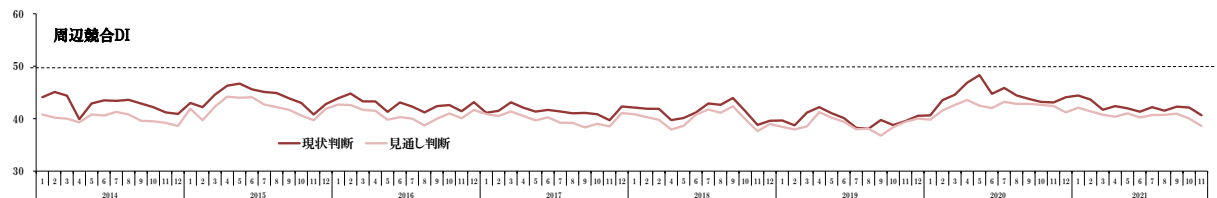
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	2.8	33.1	57.3	6.7	0.0	42.0
【現状】購買意欲 (当月)	2.5	36.1	58.2	2.5	0.6	40.7
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	3.4	36.5	55.6	4.5	0.0	40.3
【見通し】購買意欲 (当月)	1.9	43.0	52.5	2.5	0.0	38.9



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断ともに小幅に悪化

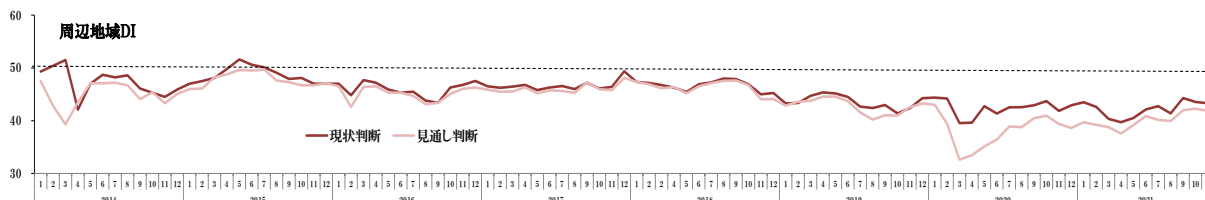
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.8	29.2	65.2	2.2	0.6	42.1
【現状】競合状況 (当月)	5.1	29.7	62.7	2.5	0.0	40.7
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.5	32.6	61.2	1.7	0.0	40.0
【見通し】競合状況 (当月)	6.3	34.8	57.0	1.9	0.0	38.6



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断、見通し判断ともに横ばい

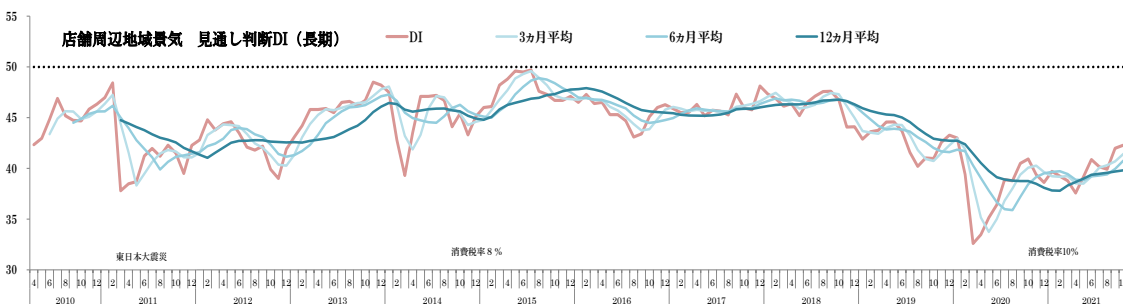
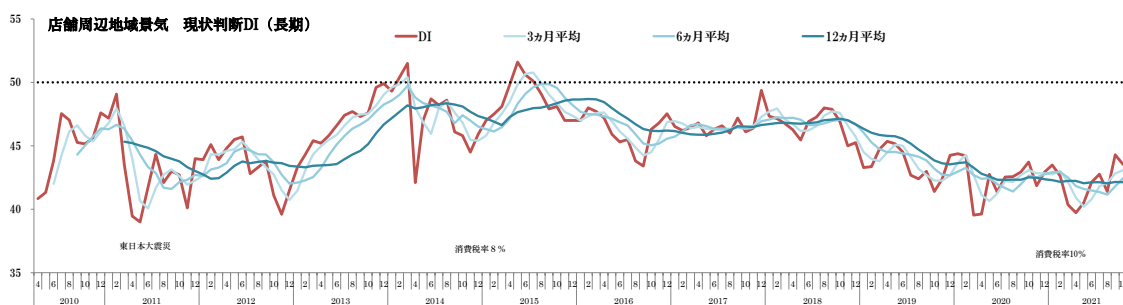
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	1.1	24.7	73.0	1.1	0.0	43.5
【現状】地域景気 (当月)	2.5	26.1	66.9	4.5	0.0	43.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	1.7	29.8	66.3	2.2	0.0	42.3
【見通し】地域景気 (当月)	2.5	31.8	61.1	4.5	0.0	41.9



・中核店舗周辺地域景気判断DI 長期傾向 (2010年4月～)

周辺地域景気判断DIは、2011年3月の東日本大震災以降低迷を続けていたが、12年11月から16ヵ月にわたる改善が続き、14年3月には現状判断DIが51.5を記録した。14年4月の消費税率8%への引き上げにより、大幅に悪化したものの、その後徐々に持ち直しをみせ、2015年5月には現状判断DIは51.6にまで達し、調査開始以来の最高値を更新した。

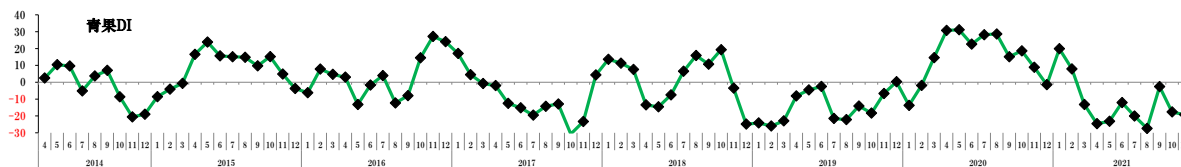
しかしこれをピークに、その後15ヵ月間にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷した。以後方向感の乏しい推移が続いていたが、18年の後半から悪化傾向が顕著となり、徐々にその水準を切り下げており、19年7月には現状判断DIは42.3まで低下した。20年2月に大幅に悪化したのが、5月から10月まで持ち直しの動きが続いた。その後21年2月からは悪化するも、5月以降は小幅ながら改善傾向が続いている。その後、9月に大幅な上昇をみせ、各移動平均線を上抜きし、上昇トレンド入りを示唆している。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：-19.2（不調）

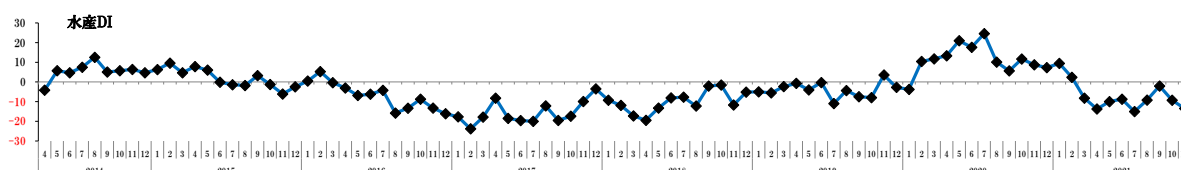
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	22.5	39.9	26.0	8.7	2.9	-17.6
青果（当月）	21.7	47.4	18.4	11.2	1.3	-19.2



青果は葉物を中心に相場安傾向で単価が下落、点数も伸び悩んだ。飲食店など業務用需要に回復傾向がみられている。ネギや白菜、菌類をはじめとする鍋物関連の動きは、上旬は気温が高めに推移し動きが悪かったが、中旬以降気温が平年並みになると好調に推移した店舗が多かった。タマネギやじゃがいもなど土物類は入荷不足や相場高の影響を受け、不調となった。国産果物はいちごやみかんが好調だが、柿やりんごは不調とするコメントが多かった。切花は前年から大きく売上を伸ばしている店舗が多い。

2. 水産DI：-13.5（不調）

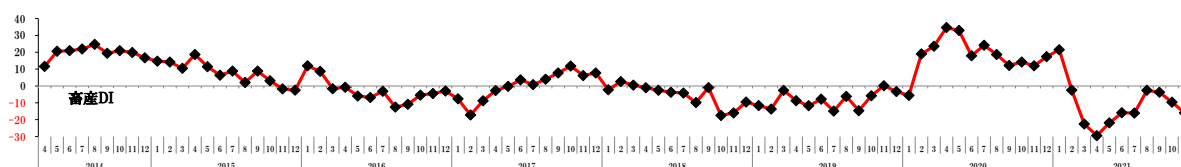
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	7.5	47.4	25.4	13.9	5.8	-9.2
水産（当月）	11.8	50.7	21.7	11.2	4.6	-13.5



生魚の入荷が不安定なことに加え、漁船の燃料高騰などもあり相場高となっており、販売に苦勞した店舗が多かった。タラや牡蠣など鍋関連商材は、中旬以降動きがよかった。輸入魚介類(鮭・えび・タコなど)や珍味の価格上昇が目立ち、販売数量を落とした店舗が多い。戻りカツオは前年に比べ水揚量が回復し好調な販売動向となった。緊急事態宣言解除により週末を中心に内食需要が落ち着き、刺身類はやや低調、冷凍加工品も伸び悩んだ店舗が多い。

3. 畜産DI：-16.0（不調）

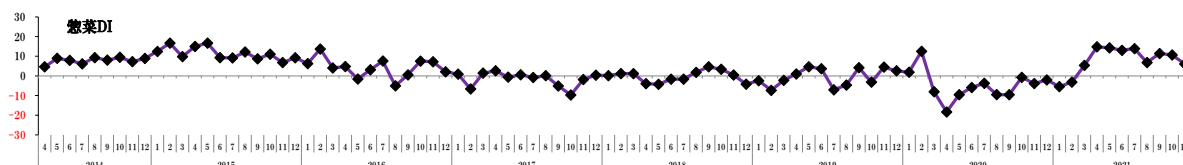
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	13.2	37.9	27.0	17.8	4.0	-9.6
畜産（当月）	16.4	46.1	26.3	7.2	3.9	-16.0



緊急事態宣言解除による内食需要の落ち着きに加え、国内産、輸入品共に価格の高騰が続いており、販促も打ちにくく、伸び悩んだ。国産牛、輸入牛ともに価格上昇が続き動きが悪く、なかでも和牛など高単価商品のが不調となった。豚肉や鶏肉は鍋需要を中心に回復傾向がみられた。ハム・ソーセージなど加工肉は前年好調の反動で不振とする店舗が多い。

4. 惣菜DI：6.1（やや好調）

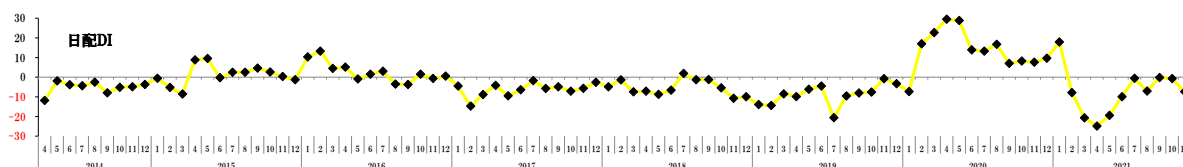
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	3.5	15.0	31.2	35.8	14.5	10.7
惣菜（当月）	3.4	18.2	37.8	31.8	8.8	6.1



緊急事態宣言解除による通勤の再開などで夕方以降の人流が増加し、夜間売上が回復した店舗がみられた。寿司類は引き続き好調、油脂類の値上げにより家庭での調理を避けるためか、揚げ物類が好調とのコメントが多い。近場への行楽や、小規模イベントの再開により、弁当類も好調に推移。引き続き、家飲み用の、焼鳥やつまみ類も堅調に推移している。正月のおせち予約注文が好調とのコメントが多い。

5. 日配DI：-7.4（やや不調）

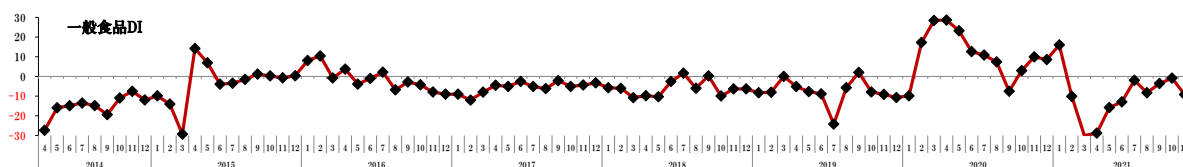
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	7.4	26.3	36.0	22.3	8.0	-0.7
日配（当月）	9.2	36.6	35.3	12.4	6.5	-7.4



前年に比べ内食需要に減少傾向がみられ、全般的に買上点数が伸び悩んだ。利便性が定着した冷凍食品や、デザート類は引き続き好調に推移した。気温が低下した地域では、和日配は、こんにやく、練物、豆腐など鍋物関連商材が急回復した店舗が多い。前年好調だった納豆などの発酵食品は反動減もみられているが、豆乳やアーモンドミルクはメディア報道により特需がみられた。漬物は青果の相場安の影響もあり伸び悩んだ。

6. 一般食品：-9.2（やや不調）

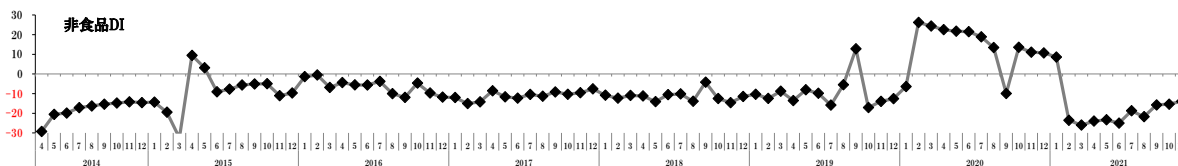
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	7.4	25.1	38.3	21.7	7.4	-0.9
一般食品（当月）	11.2	39.5	29.6	14.5	5.3	-9.2



緊急事態宣言が解除されたことで内食需要に落ち着きがみられ、保存性の高い食品(カップ麺、パスタなどの乾麺類、レトルト類、缶詰など)は伸び悩んだ。値上げのあった油や調味料は単価上昇となり好調に推移した。上旬は気温が高く推移したことで水、飲料が好調。中旬以降はホットメニューに動きがみられた。家飲み需要は引き続き堅調に推移しており、酒類や珍味などのつまみ類は引き続き好調に推移した。新米の動きが悪いとのコメントがみられた。飲食店など業務用の需要に回復傾向がみられている。

7. 非食品 DI：-13.9（不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	21.1	33.9	33.3	8.8	2.9	-15.4
非食品（当月）	21.2	31.1	33.1	11.3	3.3	-13.9



マスクやハンドソープ、除菌関連などの衛生用品で特需となった前年からの反動が続いている。ティッシュやトイレットペーパー、キッチンペーパーなどの紙製品についても反動減が大きい。日用雑貨、家庭雑貨も前年並みにとどまった店舗が多い。値上げのあったタバコ類に回復傾向がみられた。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2021年12月調査（11月実績）キーワード TOP3

1. 原材料価格の上昇
2. 巣ごもり需要減少、業務用需要回復
3. 年末年始予約好調

（参考）2020年12月調査（11月実績）キーワード TOP3

1. 家庭内調理需要の高まり
2. 青果相場安
3. ギフト、年末予約好調

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

11月実績速報版 158社
 10月実績確報版 178社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp